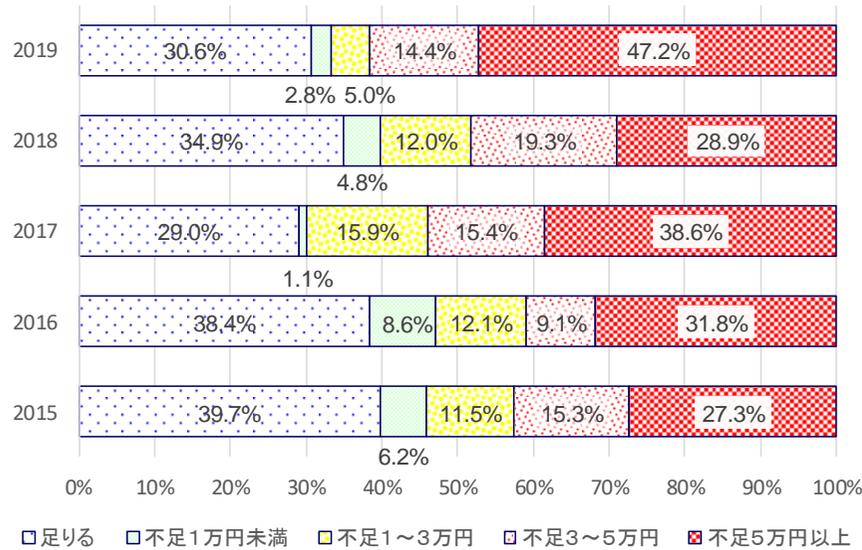


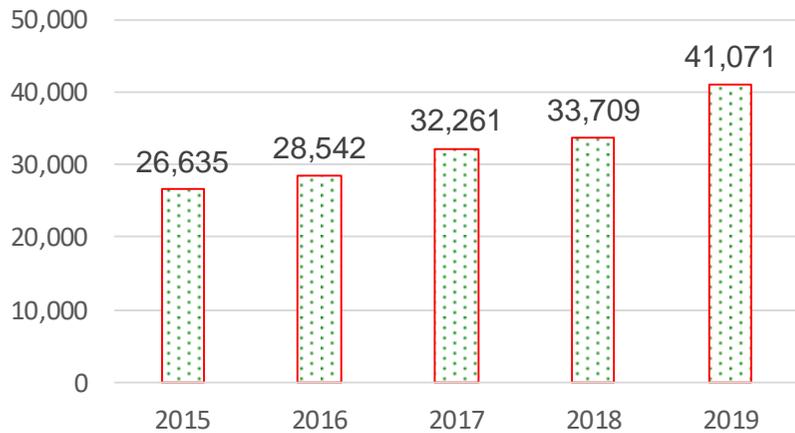


ソニー労働組合は国内ソニーグループの労働者などで組織しています。
困った時・悩んだ時は、ソニー労働組合へご相談を！ E-mail: soudan@so-union.org

【図1】 毎月の基本給で生活は足りませんか



【図2】 賃金の引き上げをどれだけ要求したいと思いますか



アンケートに寄せられた声

- ◆ 定年又は再雇用年限の70歳までの延長は先進の他社から遅れているので早期に実現させること。
- ◆ 無駄な目標設定が増える。必要な仕事にもっと時間をかけるべき。
- ◆ 理不尽、不条理な賃下げを行わない定年まで安心して働ける会社、設立趣意書に沿う会社になることを期待しています。

賃上げ・一時金以外で強化したい取り組みでは、「定年・退職金」が最多で約3割を占めました。高齢者雇用をめぐり、雇用継続義務の現行65歳から70歳への引き上げが検討されています。ソニー労組は昨年春闘から「定年の定める廃止」「希望者全員65歳以降再雇用継続」を要求していますが、アンケートにも「他社より遅れているので早期実現」など65歳以降の雇用継続を求める声が寄せられました(別枠)。

また、意見の欄には、「理不尽、不条理な賃下げ」「無駄な目標設定」など新人事諸制度に対する不満や労働

不条理な賃下げやめて65歳以降も雇用を

「毎月基本給で生活は足りませんか」は(図1)、「足りる」が減少し、「5万円以上不足」が大幅に増加して47.2%。「下げられた分戻してほしい」とのコメントも寄せられました。賃上げ要求額も15年以降年々増え、過重平均は昨年比7千円増の4万1071円になりました(図2)。

降格・賃下げ自由の新人事諸制度が15年4月に強行導入され、最大5%賃下げが続いています。昨年は全社的に改定レンジの1ピッチ引き上げがありましたが、生活悪化に歯止めがかかっていません。

一時金要求は昨年より7・20カ月から0・11カ月増えて年7・31カ月でした。

SSMM、デクセリアルズに対しても統一要求を提出します。

条件、職場環境の改善を求める切実な声も多数寄せられています。新人事諸制度、分社化に伴う人員削減や賃金削減のリストラにより、労働者の負担がより増し、職場の疲弊が進んでいることがアンケートからも読み取ることができます。

賃上げ4万1千円等を組織提案

ソニー労組は2月11日に三支部代表者会議を開き、春闘要求アンケートに基づいて、賃上げ4万1千円、一時金夏冬各3・7カ月など国内ソニーグループ等への統一要求案を中央委員会に提案しました。

地域相場の引上げ、消費税増税や労働法制改悪阻止、平和と民主主義を守る春闘の課題も、全国の仲間と力を合わせて取り組みます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

月5万円以上不足が急増

賃上げ要求4万1千円台に



全日本電機・電子・情報
関連産業労働組合連合会
ソニー労働組合
TEL 03-5795-6298
<https://www.so-union.org/>
2019. 2. 20